

認知症に関する活動計画（概要）

【渉外部】

- 地域支援事業における対県、対市町村・対他団体（主にリハ専門職協会を想定）との交渉・連絡および人材の選出と派遣・推薦（下記に認知症関連を抜粋）
- 「認知症初期集中支援チームの参加者」「認知症初期集中支援チームの会議傍聴席」

【事業部】

- 認知症カフェの運営

【教育部】

- 地域包括ケアに資する人材育成研修会（介護予防・日常生活支援総合事業および認知症編）の開催（年度内2回）

【部局連携室】

- 地域ケア会議・介護予防日常生活支援総合事業・認知症関連事業の参画のための士会組織における連携・調整・運営など

認知症初期集中支援事業への参画

【仙台市】

- 仙台市からの依頼を受け、2018年から参画継続中。チームは診療所委託と、他5チームは市直営となっており、当士会より4名のOTが配属となっている。
- 今年度から市から各区が主導的に活動を運営する中で「可能な限り在宅生活を継続できるような体制の構築」に向けた取り組みを展開、OTへの期待も高まっている。

【大河原町】

- 例年、町の地域包括で行っている相談事業の中から、初期集中に該当すると判断されたケースについて、同行訪問の依頼を受け、包括職員と2名体制で訪問。
- 訪問先での各種アセスメント、終了後の情報まとめ、サポート医を含めたチーム員会議（初回）の実施までを訪問当日に実施。
- 後日、定期的に町主催で開催されている会議にて、初期集中の事例紹介、訪問後の取り組み報告・検討等を実施。
- 基本的には、チーム員内の活動で完結しているが、ケースによっては町の地域ケア会議の事例となったものもあり。
- 相談内容に応じての依頼となるため、訪問頻度は不定期。

認知症カフェ事業への参画

【仙台市内における認知症カフェ事業への参画】

- 認知症介護研究・研修仙台センターが仙台市からの委託を受け認知症カフェ支援事業の一環として毎年開催している「認知症カフェ企画・運営者会議（年間3回予定）」に本年も参加。
- 市内認知症カフェ運営者と情報交換や今後認知症カフェを継続・普及させていくための方策についての意見交換や、毎年開催している「宮城県長寿社会政策課・仙台市地域包括ケア推進課・認知症介護研究研修仙台センター主催」の「認知症カフェネットワークミーティング」や「認知症カフェセミナー」に向けた企画、意見交換の場に参加。

【大河原町内における認知症カフェへの参加】

- 地域包括支援センターの専門職のほか、栄養士、薬剤師、福祉ネイリスト、はつらつメイト（介護予防サポーター）と共同して活動。
- 内容は参加者からの要望も取り入れながら、手工芸、ミニ講和、軽体操、音楽会などを実施。
- 活動を通して地域の繋がり作りや認知症や介護についての相談等に対応。
- 認知症についての理解も深まり、参加者同士の交流の機会も増加。
- Instagram(#うめカフェ)で活動の様子を発信し、地域の方や遠方のご家族等、様々な方との繋がりを創出。

その他、士会としての認知症関連のトピックス

【東北作業療法学会シンポジウム】

- 2023年6月25日（日）、仙台市で開催した上記学会のシンポジウムにおいて、「認知症当事者による認知症の人のための相談窓口“おれんじドア”」の運営実行委員である認知症当事者の3名にシンポジストとしてご登壇いただいた。
- 「生きることは工夫すること～認知症当事者の方々からのメッセージ～」と題して、日頃の暮らしの中で工夫していることや思い等についてお話を頂いた。